

＜人材育成と教育サービスの国際化シンポジウム＞

グローバル時代に社会が求める人材とその評価

2015年7月23日（木）13時30分～17時30分

早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール（東京都新宿区西早稲田 1-20-14）

参加無料

1. 概要

開催趣旨

我が国では、グローバル化の進展に伴い、多様な環境において経済活動を担える人材の育成について長きにわたり議論されてきましたが、既に企業はアジア諸国等において海外事業の展開・拡大を進めており、本格的に人が国境を越えた現場で働く時代となりました。

しかしながら、産業界、企業は、グローバル展開に向け、どのような人事政策の下で、どのような人材の確保・育成をしていくべきなのか模索を続けている段階であり、また、国としても、労働力の流動化の進展の中で、求められる人材像やその育成、キャリア形成支援の在り方についての検討を進め環境整備をしていくことが重要な課題となり、順次取組を始めています。特に、人材育成の目標の明確化と実践的な職業能力の評価基準の策定、人材育成の基盤となる教育の質の確保・保証について、一体的に整備を進めることは、我が国の産業界のみならず、個々の働く人のキャリア形成にも深く関わる社会全体にとっての喫緊の課題と考えられます。

そこで、当協議会では、英国、カナダ、米国における人材育成及び教育訓練の専門家である方々を講師としてお招きし、文化、言語、宗教、習慣等の違いを超えて多様な環境で活躍できる人材の育成・活用という観点から諸外国の現状や課題、参考となる取組事例等についてご紹介頂くと共に、このシンポジウムを通して今後我が国において必要とされる取組についての議論を深めていきたいと考えています。人材育成とその関連分野にご興味をお持ちの方々にとって、有益な機会となることを願っております。

主催 一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会（JAMOTE）
早稲田大学 キャリアデザインと学習サービス研究所

協賛 NEC マネジメントパートナー株式会社、JAMOTE 認証サービス株式会社、
株式会社日立インフォメーションアカデミー、株式会社内田洋行 教育総合研究所、
株式会社ウチダ人材開発センタ、株式会社アウトソーシング（順不同）

後援 日本キャリアデザイン学会、民間語学教育事業者協議会、
学習サービス事業者団体連絡協議会、全国専修学校各種学校総連合会
一般財団法人日本語教育振興協会、一般財団法人日本生涯学習総合研究所、
公益社団法人全国学習塾協会、一般社団法人全国産業人能力開発団体連合会
一般財団法人日本規格協会、公益財団法人画像情報教育振興協会（順不同）

定員・対象 250名（予定）（主に国内の教育・訓練サービスに関わる事業者、研究者等）

言語 日本語・英語（同時通訳）

プログラム（内容や時間が変更となる場合がありますのでご了承ください。）

時間	プログラム内容
13:00	開場・受付開始
13:30 – 13:45	開会の辞 ISO/TC 232 国内審議委員会 委員長 宮澤 賀津雄
13:45 – 14:05	挨拶 経済産業省 中小企業庁 次長 小林 利典 氏
14:05 – 14:30	挨拶 厚生労働省 職業能力開発局 育成支援課長 伊藤 正史 氏
14:30 – 15:15	【講演 1】グローバルタレントとユーラシア:需要シグナルと考察 William P. Rivers 博士 Executive Director, the Joint National Committee for Languages and the National Council for Languages and International Studies (JNCL-NCLIS)
15:15 – 15:25	休憩
15:25 – 17:25	【講演 2】グローバルな環境で働く：21 世紀の人材に必要とされる横断的なキー・コンピテンスとその開発 Richard Rossner 氏 Chair, Evaluation & Accreditation of Quality in Language Services (Eaquals) Vivek Venkatesh 博士 Associate Professor, the Department of Education, Concordia University
15:25-15:55	<セッション 1> 21 世紀の人材に必要とされる横断的なキー・コンピテンス
15:55-16:25	<セッション 2> キー・コンピテンスの特定・開発
16:25-16:55	<セッション 3> キー・コンピテンスの記述と評価
16:55-17:25	<セッション 4> キー・コンピテンスと企業戦略
17:25 – 17:30	閉会の辞 一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会 会長 細谷 僚一

2. 講演者の略歴

William P. Rivers 博士

Executive Director, the Joint National Committee for Languages and the National Council for Languages and International Studies (JNCL-NCLIS) ¹

研究、アセスメント、プログラム評価及び政策展開・アドボカシーに関する専門知識があり、経済発展や国家安全保障のための文化及び言語に関して 20 年以上の経験を有している。ASTM（米国材料試験協会）の語学サービス及び製品に関する専門委員会の委員長、並びに ISO/TC 232（公式教育外における学習サービス）²の米国国内審議委員会の委員長を務めている。

¹ 米国のワシントン D.C.にある、外国語教育や国際教育のアドボカシーやロビー活動を行っている団体。

² 国際標準課機構（ISO）が、公式教育以外の学習サービスの質保証を目的とした国際規格を開発するために設置された専門委員会（Technical Committee：TC）。

Richard Rossner 氏

Chair, Evaluation & Accreditation of Quality in Language Services (Eaquals)³

オックスフォード大学とロンドン大学で修士号を取得し、語学教育分野で活躍してきた。1998年から2005年まで英国の大手語学教育機関である Bell Education Trust にて最高責任者を務め、2006年から2011年まで Eaquals の最高責任者を務めた。最高責任者を退いた後、Eaquals の主任コンサルタントとして、語学講師のコンピテンスに関する枠組み (the European Profiling Grid⁴) を開発する欧州評議会と欧州連合 (EU) の共同プロジェクトに参加し、ISO/TC 232 (公式教育外における学習サービス) の英国代表団のリーダーも務めている。

Vivek Venkatesh 博士

Associate Professor, the Department of Education, Concordia University

同大学において、Academic Programs & Development (the School of Graduate Studies 内) の Associate Dean, the Centre for the Study of Learning and Performance (CSLP) の Acting Director, the Graduate Certificate in University Teaching の Director を務めた経験をもつ。学際的な応用学習 (applied learning) の研究者として、教育及び社会のコンテキストにおける、デジタルメディアの設計、開発及び包括的な導入に影響を及ぼす心理的、文化的及び認知的な要素について研究している。

3. お申込みについて

当協議会のホームページ内設置の申込みフォーム (<https://jamote.sakura.ne.jp/symposium2015/>) よりお申込み下さい。

申込期間：6月19日(金)～7月21日(火) 午後1時(申込期間を延長しました。)

4. お問い合わせ先

一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会 (JAMOTE) 事務局

TEL : 03-3552-5401 (受付時間 : 10時～17時 土日・祝日を除く)

E-mail : office@jeric.gr.jp

以上

³ 欧州を中心に活動している、国際的な語学教育機関の団体。独自の質保証システムを有し、30ヶ国以上の語学教育機関が会員校となっている。

⁴ 詳細については、The European Profiling Grid の HP (<http://www.epg-project.eu/>) を参照のこと。